

別添

「職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について」新旧対照表

改正後	改正前
<p data-bbox="197 506 791 584">職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について</p> <p data-bbox="245 651 304 685">(略)</p> <p data-bbox="213 745 304 779">(解説)</p> <p data-bbox="197 792 775 920">本解説は、職場における熱中症予防対策を推進する上での留意事項を解説したものである。</p> <p data-bbox="197 938 336 972">1 (略)</p> <p data-bbox="197 985 783 1019">2 WBGT 値 (暑さ指数) の活用について</p> <p data-bbox="213 1032 791 1111">(1) WBGT 値の測定方法等は、日本産業規格 JIS Z 8504 を参考にすること。</p> <p data-bbox="213 1124 791 1641">(2) <u>日射及び発熱体がなく、かつ、温度と湿度が一樣な、気流の弱い室内作業環境であって、WBGT 指数計等による WBGT 値の実測が行われていない場合には、日本生気象学会が作成した「日常生活における熱中症予防指針」における「図 2. 室内を対象とした気温と相対湿度から WBGT を簡易的に推定する図 (室内用の WBGT 簡易推定図)」等が熱ストレス評価を行う際の参考になること。</u></p> <p data-bbox="197 1655 480 1688">3・4 (略) (略)</p> <p data-bbox="197 1702 512 1736">5 救急処置について</p> <p data-bbox="213 1749 767 1973">熱中症を疑わせる具体的な症状については表 2 の「熱中症の症状と分類」を、具体的な救急処置については図の「熱中症の救急処置 (現場での応急処置)」を参考にすること。</p>	<p data-bbox="823 506 1414 584">職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について</p> <p data-bbox="871 651 930 685">(略)</p> <p data-bbox="839 745 930 779">(解説)</p> <p data-bbox="823 792 1398 920">本解説は、職場における熱中症予防対策を推進する上での留意事項を解説したものである。</p> <p data-bbox="823 938 962 972">1 (略)</p> <p data-bbox="823 985 1406 1019">2 WBGT 値 (暑さ指数) の活用について</p> <p data-bbox="839 1032 1422 1111">(1) WBGT 値の測定方法等は、日本産業規格 JIS Z 8504 を参考にすること。</p> <p data-bbox="839 1124 1422 1305">(2) <u>WBGT 値の測定が行われていない場合には、表 2 の「WBGT 値と気温、相対湿度との関係」等が熱ストレス評価を行う際の参考になること。</u></p> <p data-bbox="823 1655 1106 1688">3・4 (略) (略)</p> <p data-bbox="823 1702 1137 1736">5 救急処置について</p> <p data-bbox="839 1749 1398 1973">熱中症を疑わせる具体的な症状については表 3 の「熱中症の症状と分類」を、具体的な救急処置については図の「熱中症の救急処置 (現場での応急処置)」を参考にすること。</p>

表1-1・表1-2 (略)

(削除)

表1-1・表1-2 (略)

表2 WGBT値と気温、相対湿度との関係

(日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3訂正版 2021.3から)

気温(°C) (乾球温度)	相対湿度(%)												WGBT値			
	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75		80	85	90
29	33	31	32	33	34	35	35	37	38	39	40	41	42	43	44	
28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
27	25	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
26	23	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
25	21	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
24	19	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
23	17	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
22	15	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
21	13	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
20	11	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
19	9	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
18	7	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
17	5	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
16	3	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
15	1	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
14	-1	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
13	-3	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
12	-5	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
11	-7	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
10	-9	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
9	-11	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
8	-13	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
7	-15	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
6	-17	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
5	-19	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
4	-21	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
3	-23	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
2	-25	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
1	-27	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42

注：危険、厳重警戒等の分類は、日常生活の上での基準であって、労働の場における熱中症予防の基準には当てはまらないことに注意が必要であること。

表2 熱中症の症状と分類

分類	症状	重症度
I度	めまい・ふらつき・失神 (「立ちくらみ」という状態で、脳への血液が瞬間的に不足になったことを示し、「熱失神」と呼ぶこともある。) 筋肉痛・筋肉の硬直 (筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを作る。発汗に伴う塩分(ナトリウム等)の不足により生じる。これを「熱痙攣」と呼ぶこともある。) 大量の発汗	小
II度	頭痛・気分不良・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 (体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から「熱疲労」といわれていた状態である。) 集中力や判断力の低下	
III度	意識障害・痙攣・手足の運動障害 (呼びかけや刺激への反応がはばいしい、体がガクガクと引きつげがある、真直ぐに走れない・歩けないなど。) 高体温 (体に触ると熱いという感触がある。従来から「熱射病」や「重症の日射病」と言われていたものがこれに相当する。)	大

表2 熱中症の症状と分類

分類	症状	重症度
I度	めまい・ふらつき・失神 (「立ちくらみ」という状態で、脳への血液が瞬間的に不足になったことを示し、「熱失神」と呼ぶこともある。) 筋肉痛・筋肉の硬直 (筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを作る。発汗に伴う塩分(ナトリウム等)の不足により生じる。これを「熱痙攣」と呼ぶこともある。) 大量の発汗	小
II度	頭痛・気分不良・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 (体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から「熱疲労」といわれていた状態である。) 集中力や判断力の低下	
III度	意識障害・痙攣・手足の運動障害 (呼びかけや刺激への反応がはばいしい、体がガクガクと引きつげがある、真直ぐに走れない・歩けないなど。) 高体温 (体に触ると熱いという感触がある。従来から「熱射病」や「重症の日射病」と言われていたものがこれに相当する。)	大

表1-1・表1-2 (略)

(削除)

表1-1・表1-2 (略)

表2 WBGT値と気温、相対湿度との関係  
 (日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3訂正版 2021.3から)

気温(℃)	相対湿度(%)																
	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
19	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
20	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
21	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
22	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
23	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
24	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
25	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
26	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
27	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
28	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
29	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
30	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
31	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
32	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
33	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
34	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
35	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

WBGT値

危険 31℃以上
注意警戒 28~31℃
警戒 25~28℃
注意 25℃未満

注 危険、注意警戒等の分類は、日常生活の上での基準であって、労働の場における熱中症予防の基準には当てはまらないことに注意が必要であること。

表3 熱中症の症状と分類

分類	症状	重症度
I度	めまい・牛あくび・失神 (立ちくらみという状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、「熱失神」と呼ぶこともある。) 筋肉痛・筋肉の硬直 (筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴う。発汗に伴う塩分(ナトリウム等)の欠乏により生じる。これを「熱疲労」と呼ぶこともある。) 大量の発汗	小
II度	頭痛・気分不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 (体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から「熱疲労」といわれていた状態である。) 集中力や判断力の低下	大
III度	意識障害・痙攣・手足の運動障害 (呼びかけや刺激への反応がおかしい、体がガクガクと引きつがある。真直ぐに走れない・歩けないなど。) 高体温 (体に触ると熱いという感覚がある。従来から「熱射病」や「重度の日射病」と言われていたものがこれに相当する。)	

表3 熱中症の症状と分類

分類	症状	重症度
I度	めまい・牛あくび・失神 (「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、「熱失神」と呼ぶこともある。) 筋肉痛・筋肉の硬直 (筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴う。発汗に伴う塩分(ナトリウム等)の欠乏により生じる。これを「熱疲労」と呼ぶこともある。) 大量の発汗	小
II度	頭痛・気分不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 (体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から「熱疲労」といわれていた状態である。) 集中力や判断力の低下	大
III度	意識障害・痙攣・手足の運動障害 (呼びかけや刺激への反応がおかしい、体がガクガクと引きつがある。真直ぐに走れない・歩けないなど。) 高体温 (体に触ると熱いという感覚がある。従来から「熱射病」や「重度の日射病」と言われていたものがこれに相当する。)	

